

≪ 姫路東高校の一押し本100選 ≫ 一部紹介します！！

著者名	書名	内容・推薦者コメント
池波 正太郎	真田太平記	田家の人々と忍者らの活躍を詳細に描く。著者の作品すべてに言えるが、読後感がよい。何度も読み直したくなる。
伊坂 幸太郎	オーデュボンの祈り	コンビ強盗に失敗した伊藤は、不思議な島にやって来る。島の住人が個性的で魅力的。登場人物の言葉には、思わずドキッとさせられる。
伊坂 幸太郎	終末のフール	八年後に地球が滅亡すると予言されてから五年。ヒルズタウンの住人たちが人生を見つめ直す。主人公の心の傷が繊細に描かれており、心に響く。
石田 ゆうすけ	いちばん危険なトイレといちばんの星空 ～世界9500km自転車ひとり旅～	自転車で世界を旅した著者の痛快旅エッセイ。世界をひとりで旅した著者の視点で描かれる等身大の世界は魅力満点！
井上 靖	夏草冬濤	自伝的三部作の第二作目。洪作は、伯母の家に下宿して中学に通うことになった。今も深い愛着を覚えるビルドゥングスロマン。
上橋 菜穂子	精霊の守り人	女用心棒バルサを主人公に、人の世界と精霊の世界を描いた物語。作りこまれた世界観が魅力。
植松 努	NASAより宇宙に近い町工場 僕らのロケットが飛んだ	北海道の小さな町工場を営む著者が、宇宙ロケット開発に挑む。感動と勇気を与えてくれる一冊。
宇沢 弘文	経済学の考え方	経済学とはなにか、経済学の考え方とはどういうものかをわかりやすく説いている。時代をどのように受けとめ、理論の形にしていくかを学ぶ。
ウンベルト・エーコ	薔薇の名前	修道士ウィリアムとその弟子が奇妙な事件に遭遇する。記号論学者である著者による歴史ミステリー。「事象」と「名前」の哲学に迫る重厚な物語。
榎本 博明	〈ほんとうの自分〉 のつくり方	「自分」を見つめ直し、たしかな生き方をつかむ方法を説く。私たちは「自分らしい」生き方を見つけ、確立していかなければならない。